

関西地区 海運実務研修講座のご案内

2026年度予定および2025年実績



2026年3月

一般社団法人 日本海運集会所
海事知見事業グループ(セミナー)

- 注
- ・セミナー会場は、神戸国際会館等の会議室を予定しています。詳細は各講座の開催通知、Webサイトをご確認ください。
 - ・各講座の定員は一部を除き、24名程度です。
 - ・講師、内容等に変更になる場合があります。
 - ・各講座の1コマあたりの講義時間は、原則として90分です。
 - ・資料は当日配布します。事前の送付やデータでの提供はありません。
 - ・会場での写真撮影、ビデオ撮影、録音は固くお断りします。
 - ・講義中にノートパソコンでメモを取ることはお控えください。

記号について

- ★ 入門 → 新入社員および新人、通年採用(業界未経験者)
- ★★ 初・中級 → 実務経験1年～ 少し業界用語がわかる方、もしくはわかってきた方
- ★★★ 中級 → 実務経験1～3年程度 ある程度の業界用語がわかる方

改 前回より講師、内容、講座名、回数等の変更あり

新 新規講座

もくじ

関西地区 海運実務研修講座

NO	テーマ	レベル	2026年度開催予定日	ページ
1	新人社員研修	★	5月13日	5
2	船の技術知識あれこれ	★	6月12日	6
3	船舶金融詳説	★★★	10月頃	7
4	船舶管理実務	★★	11-12月頃	8
5	船舶保険 入門	★★	1月頃	9
6	入門 会計と海運業	★	3月頃	10
7	定期傭船契約	★★	3月頃	11
8	内航傭船契約	★★	未定	12
	MEMO			13

関西地区 海運実務研修講座 1 「新人社員研修」

船で世界の荷物を運ぶ 海運の基礎を学ぶ



今年度予定	5月13日(水曜日) 10:30~16:40 神戸国際会館 8階 805号室 受講料改定 JSE会員:19,800円(税込) JSE非会員:31,680円(税込) ※資料代含む。
--------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

昨年度実施状況

日時	2025年5月9日(金曜日) 10:30~16:40	
場所	神戸国際会館 セミナーハウス 8階 805号室 神戸市中央区御幸通8-1-6 TEL:078-230-3196	
受講料	JSE会員:16,500円(税込) JSE非会員:26,400円(税込) ※資料代含む。	
定員	30名程度(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル	入門	
対象	新人社員および新人、通年採用(業界未経験者)	
概要	<p>午前は、今日の海事産業・ビジネスの全体像を把握し、午後は、疑似航海のストーリーをもとに海運の歴史を絡めながら商船運航のしくみを学びます。</p> <p>本講座は、海運業の経済上の役割の大きさやその仕事の特殊性を理解し、これから携わる業務の礎としていただくことを目的としています。</p>	
内容	第一部 10:30~ 12:00	<p>『海運ビジネスの基礎』</p> <ol style="list-style-type: none"> 国際貿易と海運 <ul style="list-style-type: none"> ・輸送品目と海上荷動き動向 ・海運 次世代への取組み 海運ビジネスの仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・海運と海事クラスター ・コンテナ船ビジネスについて コンテナ船の動向 <ul style="list-style-type: none"> ・船の種類と船腹供給動向 ・船主と傭船者 ・海運業の費用構造と採算 ・世界貿易とコンテナ船輸送 <p>講師：(株)商船三井 コーポレートマーケティング部BI・リサーチチームシニアリード 若岡 邦昭 氏</p>
	昼休み 12:00~13:30	
	第二部 13:30~ 16:40	<p>『商船の運航・基礎編』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海上貨物輸送の現状(日本海運と便宜置籍船、船員リソース) ・船の諸元(長さ、幅、深さ、喫水、トン数、速度、操縦性能) ・航海実務(入出港、大洋航海、航海計画、荷役、航海計器、当直体制、パナマ運河、スエズ運河) ・船舶管理 ・安全運航管理(海難事故、海賊対策、ISMコード) ・商船の環境対策(燃費・CO2排出) ・その他、船の現状(船内生活、通信、健康管理) <p>講師：UK P&I Club Senior Loss Prevention Director 元 日本郵船(株) 常務経営委員、日本海洋科学 代表取締役社長 関根 博 氏</p>

関西地区 海運実務研修講座 2 「船の技術知識あれこれ」

船のことがよく分かる！ 知っていた方が得なメカニズム



今年度予定	6月12日(金曜日) 13:15～16:40 ※他の講座より15分早く開始します。 神戸国際会館 7階 701号室 受講料改定 JSE会員:13,200円(税込) JSE非会員:21,120円(税込) ※資料代含む。
--------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

昨年度実施状況

日時	2025年6月13日(金曜日) 13:15～16:40 ※他の講座より15分早く開始します。
場所	神戸国際会館 セミナーハウス 8階 805号室 神戸市中央区御幸通8-1-6 TEL:078-230-3196
受講料	JSE会員:11,000円(税込) JSE非会員:17,600円(税込) ※資料代含む
定員	30名程度(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
レベル	入門
対象	若手社員、自身の知識整理・再確認したい中堅の方
講師	元(株)商船三井 常務執行役員 横田 健二 氏
略歴	1977年東京大学工学部船舶工学科卒業。同年大阪商船三井船舶(現 商船三井)入社。工務部にて新造船設計、新造船監督、保船等の業務に従事。 1994年技術部設計チーム課長、1996年技術部LNG船プロジェクトチーム課長、1998年技術部副部長、2000年LNG船管理部副部長、2002年技術部副部長、2005年技術部長、2007年執行役員、2009年常務執行役員を経て、2012年MOLシブテック代表取締役社長、相談役を歴任。現在は業界団体などで講師を務める。
概要	本講座では、船の基礎知識から主要目の説明、推進性能・燃費、さらに造船に関わる知識まで幅広く学習します。充実した資料を参照しながら様々な技術用語もできるだけ解説します。 海運・造船に関わって間もない若手社員や、知識をもう一度整理し理解を深めたい中堅の方々を対象とした、体系的に技術知識を得られる最適な講座です。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・造船海運でよく使われる単位 ・主要金属、液体、気体の比重と物性 ・船とは(船の定義、船の分類) ・船型(1.バルカー、2.タンカー・プロダクト船、3.コンテナ船、4.各船種の構造) ・主要目(1.主要寸法、2.トン数、3.船籍船級検査規則、4.主機関、5.主要補機) ・性能・燃費(1.推進性能、2.燃費) ・復原性能(GM) ・海上試運転 ・造船契約(造船契約と関係者) ・建造工程 ・船費 ・検査・修繕 ・塗装(防錆塗料、防汚塗料) ・係船設備 ・造船海運に関わる人

関西地区 海運実務研修講座 3 「船舶金融詳説」

海事ビジネスを支える船舶金融の基礎解説と今後の展開

★★★

今年度 予定	10月頃
-----------	------

昨年度実施状況

日 時	2025年12月18日(木曜日) 13:30~16:40
場 所	神戸国際会館 セミナーハウス 8階 804号室 神戸市中央区御幸通8-1-6 TEL:078-230-3196
受講料	JSE会員:13,200円(税込) JSE非会員:21,120円(税込) ※資料代含む。
定 員	24名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
レベル	中級
対 象	実務経験1年目～。会計や簿記の知識があることが望ましい。金融や経済に興味がある方、財務・経理の担当者など。
講 師	木原 知己 氏 早稲田大学 大学院 法学研究科 非常勤講師/同大招聘研究員、 センチパートナーズ(株) 代表取締役
略 歴	1984年九州大学法学部卒業後、日本長期信用銀行(現SBI新生銀行)入行。主として船舶融資を担当し、営業第八部長、高松支店長を最後に同行退職。 2005年に都内金融機関に入行し、船舶金融チームを立ち上げる。 2011年、青山総合会計事務所顧問に就任し、パートナー、海事スーパーバイザーを歴任。 現在は、船主向け経営コンサルティングの傍ら、ファイナンスアレンジなどに従事する他、早稲田大学大学院法学研究科非常勤講師(船舶金融法研究)、同大学海法研究所招聘研究員、センチパートナーズ(株)代表取締役、海事振興連盟三号会員、海洋立国懇話会理事、山縣記念財団理事などを務める。
著 書	『船舶金融論—船舶に関する金融・経営・法の体系(3訂版)』(海文堂出版) 『シップファイナンス—船舶金融概説(増補改訂版)』(海事プレス社) 『船主経営の視座』(海事プレス社) 『波濤列伝—幕末・明治期の夢への航跡—』(海文堂出版) 『号丸譚—心震わす船のものがたり—』(海文堂出版) 『船舶金融法の諸相』(編著、成文堂) 『日本の海のレジェンドたち』(編著、海文堂出版) 『躍動する海—さまざまに織りなす「海」の物語』(海文堂出版)
概 要	船舶を建造・購入するときに必要な船舶金融の基礎(定義、体系、実務ほか)について、貸す側と借りる側双方の視点に立ち、金融論・船舶融資論・船主経営論のほか、海商法論との接点を交え、より体系立てて解説します。 また、社会や環境変化による船舶金融の深化・進化を踏まえ、今後の展開について考察します。
内 容	1. 船舶金融の定義 2. 船舶融資の種類 3. 船舶融資可否判断基準 4. Loan Agreement 5. モニタリング 6. 船舶融資(船舶金融)の進化

関西地区 海運実務研修講座 4 「船舶管理実務」

リスクを抑える船舶管理業務を体系的に学ぶ

★★

今年度 予定	11月下旬～12月上旬頃
-------------------	--------------

昨年度実施状況

日時	2025年10月24日(金曜日) 11:00～16:40
場所	神戸国際会館 セミナーハウス 804号室
受講料	JSE会員:19,800円(税込) 非会員:31,680円(税込) ※資料代含む。
定員	24名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
レベル	初・中級
対象	実務経験1年目～。船舶におけるリスクマネジメントについて体系的に学んでみたい方。知識を確認したい方。
講師	ベルンハルトシュルテシップマネジメントジャパン(株) ゼネラルマネージャー 杉本 和重 氏
略歴	1988年ワールドマリン株式会社入社。航海士及び船長として海上勤務の後、海務監督として船舶管理業務に従事。 同社船舶管理グループ長、取締役専務執行役員を歴任。2024年から現職。海事代理士。
概要	船舶管理は、関連規則・条約の規定に基づき、本船の堪航性を確保し、さらに本船の資産価値を維持・向上する船主業務の大きな柱です。 その実務は船舶の安全運航・保守管理・コスト管理・船員の教育訓練、環境影響への配慮、事故防止・対応などのリスクマネジメントと多岐にわたっています。 本講座では、船舶管理業務を熟知した講師に、基本的な事柄を確認しつつ、コロナ後の船員配乗や環境対応といった最近の話題、重大事故等、具体例や経験談などを交えて体系的に解説していただきます。
内容	1.船舶管理とリスクマネジメント 船舶管理契約 / 船舶管理費用 / 全体最適化とDX 2.乗組員管理業務 乗組員配乗管理・教育 / MLC2006 / ウェルビーイング 3.工務関連業務 保船・入渠作業実務 / 関連条約・規則と検査 / 環境関連 4.海務関連業務 傭船契約・運航管理 / 海難事故対応 / 船舶保険の概要 5.安全と船舶管理品質 ISM Code / RightShip / DBMS / 安全管理実務

関西地区 海運実務研修講座 5 「船舶保険 入門」

船舶損害のリスクを補填する保険の基礎知識

★★

今年度 予定	1月頃
-------------------	-----

昨年度実施状況

日時	2026年1月22日(木曜日) 13:30～16:40	
場所	神戸国際会館 セミナーハウス 8階 804号室 神戸市中央区御幸通8-1-6 TEL 078-230-3196	
受講料	JSE会員:13,200円(税込) JSE非会員:21,120円(税込) ※資料代含む。	
定員	24名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル	初・中級	
対象	新人および実務経験1年程度向き	
講師	東京海上日動火災保険(株) コマーシャル損害部 船舶第二グループ 課長代理 鈴木 悠人 氏	
略歴	2012年入社。入社後、福岡/広島/大阪で船舶保険やP&I保険の損害査定業務に携わる他、東京で荷主向けの外航貨物海上保険や国内運送保険の損害査定業務に携わる。2022年度から現職。	
概要	本講座では、船舶保険の基礎を学ぼうとする方々を対象に、航海上船舶が遭遇する海難、各種船舶保険の内容、保険金支払いの対象となる事故および損害、事故発生時の対応・注意点等、事故対応に関して船舶保険について押さえておくべきポイントを講義いたします。	
内容	1	船舶保険の基礎知識: 船舶運航上のリスク、船舶に関する保険(船体保険、不稼働損失保険、戦争保険など)
	2	海難発生時の対応: 修繕、衝突、全損、救助、共同海損

関西地区 海運実務研修講座 6 「入門 会計と海運業」

海運特有の会計基礎を学ぶ



今年度 予定	3月頃
-----------	-----

昨年度実施状況

日 時	2026年3月5日(木曜日) 13:30~16:40	
場 所	神戸国際会館 セミナーハウス 7階 702号室 神戸市中央区御幸通8-1-6 TEL:078-230-3196	
受講料	JSE会員:13,200円(税込) JSE非会員:21,120円(税込) ※資料代費含む	
定 員	24名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル	入門	
対 象	海運業における会計の基礎を身につけたい方。(新人、1~2年程度向き) ※業務に携わったことのない方向け。経理部の方には易しい内容です。	
講 師	前半	公認会計士 中尾 裕磨 氏 (EY新日本有限責任監査法人 大阪事務所 CLPIIIグループ マネージャー)
	後半	公認会計士 山崎 二葉 氏 (EY新日本有限責任監査法人 大阪事務所 CLPIIIグループ シニア)
概 要	<p>本講座では、まず海運業特有の収支構造や取引の流れを概観した上で、それらの会計処理について図表等を用いて説明します。</p> <p>次に、海外置籍を伴う船舶の取得・維持や、船舶に関する税務など、船舶に関わる財務会計上のポイントを解説します。</p> <p>近年、海運業においては、船舶管理業の発展や経理のシステム化、さらには船舶金融の多様化などを背景に、海運会計の知識を必要とする分野や業務が拡大しています。</p> <p>海運会社や関連企業、金融機関で、これから海運会計に携わる新人の方や、海運会計に関心のある方を対象に、入門編として基礎的な知識をご紹介します。</p>	
内 容	前半	<ul style="list-style-type: none"> ・会計と海運業ビジネスの基礎的理解 ・会計における海運業の特徴 ・海運業収益
	後半	<ul style="list-style-type: none"> ・船舶に係る論点 (仕組船会社の概要、取得原価、取得後の処理(減価償却・修繕・減損)、税務)

関西地区 海運実務研修講座 7 「定期傭船契約」

定期傭船契約の基礎を学ぶ

★★

今年度予定	3月頃
--------------	-----

昨年度実施状況

日時	2026年3月19日(木曜日) 9:30～16:40	
場所	神戸国際会館 セミナーハウス 8階 804号室 神戸市中央区御幸通8-1-6 TEL:078-230-3196	
受講料	JSE会員:26,400円(税込) JSE非会員:42,240円(税込) ※資料代費含む。	
定員	24名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル	初・中級	
対象	務経験1年目～。基本的な用語が分かっていることが望ましい。	
講師	赤木海事綜合法律事務所 パートナー弁護士 赤木 潤子 氏	
概要	本講座は、定期傭船契約の基本構造の理解を深めることをねらいとしています。 書式としては、代表的な定期傭船書式であるNYPEを適宜取り上げます。 定期傭船契約の本質的な理解と知識の整理ができるよう、ポイントを押えて解説いたします。	
内容	外航の定期傭船契約に関する一般的な事項を、できる限り解り易く解説します。船主・傭船者の権利義務関係を視点に据えつつ、NYPEを検討します。受講者の方々の理解に資するよう、英国法 独自の概念についても、適宜説明します。	
	1	定期傭船契約とは、契約当事者の権利義務(総論)
	2	契約当事者の権利義務(各論)とNYPE サービスと航海指示、荷役作業、傭船料、費用負担、傭船期間、返船、傭船契約の解消、堪航性担保義務、メンテナンス義務、配船、船荷証券等に関わる基本的論点

関西地区 海運実務研修講座 8 「内航傭船契約」

新

内航船における契約書式を改めて学び、理解を深める

★★

今年度予定	未定
--------------	----

2026年度新規セミナー

場 所	神戸国際会館 セミナーハウス 神戸市中央区御幸通8-1-6 TEL:078-230-3196	
受講料	JSE会員:13,200円(税込) JSE非会員:21,120円(税込) ※資料代含む。	
定 員	24名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル	初・中級	
対 象	実務経験1年目～	
講 師	田川総合法律事務所 弁護士 黒田 直行 氏	
概 要	<p>実務上、内航船舶の傭船契約について、契約書を見たことや取り扱ったことがあっても、その意味合いについて深く理解する機会はあまりないという方も多いのではないのでしょうか。しかし、リスク予測やトラブル発生時の対応、また契約内容見直しの際にも、契約書の内容とデフォルト・ルールを把握しておくことが有用です。</p> <p>内航傭船契約では多くの場合、日本海運集会所の内航傭船契約各書式が用いられています。また、法律としては主に商法の規定が適用されます。</p> <p>そこで本講座では、商法のルールも踏まえながら、各種傭船契約の一般的な内容を確認した上で、費用負担やトラブル発生時の責任の所在などの各契約の相違点や、海運集会所の契約書式にどのような特色があるかといった点を中心に、法律上のポイントについて解説いたします。</p> <p>※なお本講座では、裸傭船契約、定期傭船契約、航海傭船契約に加え、厳密には傭船契約には分類されない運航委託契約も取り上げることとします。</p>	
内 容	1	各傭船契約の概要 ・裸傭船契約 ・定期傭船契約 ・航海傭船契約 ・傭船契約類似の契約(運航委託契約)
	2	各傭船契約の相違点 ・費用負担 ・対価 ・契約当事者間の責任 ・対外的責任 ・保険
	3	海運集会所書契約書式の特色 ・裸傭船契約 ・定期傭船契約 ・航海傭船契約 ・運航委託契約
	4	その他の規律(内航海運業法)

※各講座の日程や詳細については、関係各位に【JSEメール通信】にて配信しています。
毎月16日前後に、翌月に開催する全ての講座・セミナーの概要をお知らせし、
また、各講座の開催日の3週間前に申込みフォームを添えて詳細をご案内しています。
配信をご希望の方は、project@jseinc.org 宛てにメールにて以下をお送りください。

1. 会社・法人名
2. 部署名
3. 役職名
4. 氏名(ふりがな)
5. メールアドレス

(注)個人アドレスは上記1～5を、グループアドレスは1, 2及び5をご記載ください。
複数のアドレスへの配信も承ります。

(お問い合わせ先)

一般社団法人 日本海運集会所 海事知見事業グループ(セミナー)

〒112-0002 東京都文京区小石川2-22-2 和順ビル3階

E-mail project@jseinc.org TEL 03-5802-8367

The Japan Shipping Exchange, Inc.
www.jseinc.org